

## 令和8年7月（第3回）教育委員会 議事録

### 1 開会及び閉会の日時

令和8年7月6日（月）午前10時00分～午前11時39分

### 2 場所 本館302会議室

### 3 出席委員

- ・教 育 長 松本 謙一
- ・同職務代理者 藤原 洋
- ・教 育 委 員 江川 由貴子
- ・教 育 委 員 浦井 啓子
- ・教 育 委 員 山田 誠

### 4 説明出席者

- ・教 育 部 長 氏家 智伸
- ・教育部次長・教育総務課長 片田 健一
- ・中央図書館長 上野 真希
- ・教育センター所長 島田 美和
- ・総合政策部こども課長 山田 千佳子
- ・福光美術館副館長 遊部 晶子
- ・生涯学習・文化振興課長 山下 真人
- ・教育総務課副参事 金谷 諭
- ・教育総務課主幹 小谷 篤史
- ・教育総務課主幹 日西 木の実
- ・教育総務課主事 北川 創平

### 5 傍聴者 1名

### 6 会議の要旨 午前10時00分、教育部長が開会を宣し、議事に入る。

#### 1 教育長の報告

- 5月30日（土） 南砺市市民大学講演会出席
  - 6月10日（水） 子どもの居場所説明会出席
  - 6月17日（水） デジタルシチズンシップ研修会出席
  - 6月20日（木） リッチモンド小学校 ウェルカムパーティー出席
  - 6月23日（火） 南砺市社会教育委員会出席
  - 7月 2日（木） 令和8年度県へき地教育振興会総会出席
  - 7月 2日（木） 令和8年度西部地区地方教育委員会連絡会出席
- 他、教育長が出席した会議・行事について概要の説明があった。

#### 2 前回議事録の承認 全員異議なく承認した。

#### 3 協議事項

- （1）令和8年度富山県市町村教育委員会連合会理事、令和8年度砺波地区地方教育委員会連絡協議会理事及び監事の選出について  
教育総務課長から説明を行った。
- （2）南砺市立図書館の開館時間の変更について  
中央図書館長から説明を行った。

#### 4 報告事項

- （1）令和8年度6月補正の概要について  
各課から説明を行った。
- （2）令和7年度南砺市立学校教職員の時間外勤務時間について  
教育総務課副参事から説明を行った。
- （3）令和8年度砺波地区中学校総合選手権大会の結果について

教育総務課長から説明を行った。

(4) 令和8年度ふるさと教育推進事業について

教育総務課長から説明を行った。

(5) 夏季教職員研修実施要項について

教育センター所長から説明を行った。

(6) 第5次南砺市子ども読書活動推進計画の進捗状況について

中央図書館長から説明を行った。

(7) 南砺市保育園等における「こどもの権利」「幼少期からの生きる学び」事業について

こども課長から説明を行った。

5 その他

(1) 南砺市立図書館の7月事業について

中央図書館長から説明を行った。

(2) 福光美術館及び棟方志功記念館愛染苑の無料公開について

福光美術館副館長から説明を行った。

(3) 夏休みワークショップ「アートで遊ぼう in なんと」の開催について

福光美術館副館長から説明を行った。

(4) 保育園等施設訪問について

こども課長から説明を行った。

(5) 各地域の学校統合の進捗状況について及びスクールバス運行ルート of 安全対策について

教育総務課長から説明を行った。

6 今後の日程

次回教育委員会開催（予定）

日時 令和8年8月7日（金）午前10時00分から

場所 中央図書館 多目的室

7 議事

報告事項（1）令和8年度6月補正の概要について

○教 育 委 員 「福光地域統合中学校整備事業」に関して、統合後の中学校は現状でソフトボールと陸上の拠点校となる可能性が高い。吉江中学校の校舎を使用するが、同校のグラウンドには夜間照明が設備されていない。部活動の拠点校化に伴い、夜間照明を新たに設置する計画はあるのか。

○事 務 局 今回の設計業務委託は、照明のLED化や空調設備など子どもたちが校舎内に入るための施設整備を前提としている。夜間照明の設置については、部活動の地域展開や福光地域統合小・中学校設置協議会の議論も含めて別途協議が必要であると考えている。設置協議会については立ち上がったばかりなので、今後様々な意見を踏まえて議論を重ねていく。

## 報告事項（２）令和７年度南砺市立学校教職員の時間外勤務時間について

○教 育 委 員 先日、中学校を訪問した際、部活動の地域展開により教職員の放課後の負担が軽減されたか質問したところ、現場の先生からは、下校時間が早くなっても退勤時間が早くなることはないとの返答があった。生徒の下校時間が 16 時 30 分となっても、保護者への連絡や対応を行う際、保護者の仕事が終わる 17 時以降でないと連絡がつかず、その時間まで学校に留まるしかないとのことだった。保護者対応等について、教育委員会側で工夫や対応を行うことはできないか。

○事 務 局 保護者対応やケース会議等の日程調整について、実際に一部の中学校や小学校では、16 時や 16 時 30 分などできる限り早い時間に前倒しする対応が進んでいる。今後も校長会等を通じて、好事例を共有し、市全体として改善を図っていきたいと考えている。

○事 務 局 働き方改革は重要だが、子どもが最優先であるという姿勢を忘れてはならないと各校長に伝えている。教育委員会としては、学校現場の負担を十分に認識し、保護者の理解を得ながら、少しでも早い時間に折り合いがつくよう働きかけを続けていく。しかしながら、学校現場では必要に応じて家庭を訪問し、保護者と対面で対応しなければならない場面もあり、こうした業務を急にゼロにすることは出来ない。部活動の地域展開が完全実施となる令和 10 年度に向けて、どこまで時間外勤務を削減できるか、引き続き各学校と連携して取り組んでいく。

## 報告事項（４）令和 8 年度ふるさと教育推進事業について

○教 育 委 員 特色ある授業計画だと思うが、一部の中学校では「1 年生のみ」の実施となっており、一部の小学校では「6 年生」の実施計画が記載されていない。ふるさと学習は特定の学年のみを対象としているのか。

○事 務 局 実際には学校全体でふるさと教育を実施しているが、学校によってはふるさと教育推進事業の予算措置のある授業に絞って計画書に掲載しているため、学年の記載に偏りがある。

○事 務 局 全学年で実施している実態があるのであれば、市民や保護者から見てふるさと教育の全体像が分かりやすいように、1 年生から 6 年生まで全校での取り組みを記載した上で、特に予算を重点配分している箇所を明記するような計画書の様式に改善すべきではないかというのが委員のご指摘だと思う。学校によって記載内容にバラつきがある点は、事務局から指導と修正をお願いしたい。

○事 務 局 実績報告時にも同様に記載の偏りが見られる。ご指摘を受け止め、今後はより分かりやすい計画書・実績報告書の構成となるよう、様式の修正も含めて学校現場と調整する。

○教 育 委 員 第 3 次南砺市文化芸術振興実施計画の基本目標（３）には、「文化

芸術や伝統工芸、伝統芸能、郷土料理を実際に見る、食べるなど、南砺市を学ぶ新たな機会の提案や南砺市内の文化芸術団体と郷土学習事業とのマッチングなどを行い、多方面から郷土学習事業の更なる充実を図る」という内容が盛り込まれている。福野小学校の「郷土の食文化を調べたり、郷土料理について理解を深めたりする」という活動を例に挙げると、調べるだけでなく、食べる等、実際に体験する機会を提供することが大切だと考える。文化芸術活動団体や関係課と連携し、体験の機会を創出することはできないか。

○事務局 子どもたちが伝統の味を実際に体験できるよう、関係機関や学校と相談しながら進めていきたい。

#### 報告事項（６）第５次南砺市子ども読書活動推進計画の進捗状況について

○教育委員 進捗状況を確認すると、計画の初年度であるにもかかわらず、最終年度（令和１１年度）の目標値を大幅に超えている指標が複数ある。この目標のまま計画を進めていくと、目標が実態に沿ったものでないため、苦しくなっていくのではないかと思います。

○事務局 この計画は教育委員会だけで策定したものでないため、市長部局とも相談して在り方について考えていきたい。

○教育委員 子どもが読書習慣を身につけるには、小学校低学年までの親子での読書体験が極めて重要だと考える。親子で楽しめるイベントを企画し、直接本や施設に触れる機会を増やすことが有効だと思う。

○事務局 保育園へは「なんとみらい文庫」という形で、本の貸出しを行っている。小学校低学年には、図書館内での絵本の読み聞かせに加え、工作イベントやボードゲームの導入など、親子でコミュニケーションを図りながら来館できる仕組みづくりを継続して進めていきたい。

○教育委員 小学校低学年の担任の先生による読み聞かせの技術や熱量が、子どもの本への興味関心に大きく影響すると感じている。教職員を対象とした読み聞かせ技術の向上研修を開催することはできないか。

○事務局 学校司書や司書教諭との情報共有を定期的に行っている。教育センターと連携し、先生方の読み聞かせスキル向上やブックトークに関する研修内容について、今後具体的に検討していきたい。

#### その他（５）各地域の学校統合の進捗状況について及びスクールバス運行ルート of 安全対策について

○教育委員 スクールバスと関連して、部活動で使用する遠征バスについて国から安全運行に関する指針が出されたと聞いているが、南砺市での対応状況はどうか。また、福光地域における学校統合に伴う教職員の負担が非常に大きいため、教育委員会としてのサポートをお願いしたい。

○事務局 部活動遠征バスに関する国の指針は県経由で７月１日に通達があり、対応を進めている。南砺市は、部活動等で使用するバスの契約

手続はすべて教育センターで一括して行っており、現時点で安全性や契約手続き上の問題はない。今後は、地域移行後のクラブ活動における輸送体制や補助制度の設計が課題になると認識している。

学校統合に伴う教員へのサポートについては、引き続き行っていく。すべての部会や検討委員会に教育委員会職員が同席し、事前調整や資料作成の支援を行う。

午前11時39分、議事が終了したので教育部長が閉会を宣した。

令和8年7月6日

南砺市教育委員会

教育長